



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス
コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 西牟田 泰央

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役企画管理本部長 (氏名) 大庭 寿一

TEL 03-3239-3185

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	17,722	21.9	190		179		212	
29年3月期第3四半期	22,884	7.6	236		207		248	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 223百万円 (%) 29年3月期第3四半期 270百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	10.75	
29年3月期第3四半期	11.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	7,550	5,778	73.5	280.57
29年3月期	8,467	6,081	69.1	295.32

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,556百万円 29年3月期 5,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		4.00	4.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	18.6	80	85.4	100	82.4	10	97.2	0.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	24,087,009 株	29年3月期	24,087,009 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	4,282,806 株	29年3月期	4,282,146 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	19,804,639 株	29年3月期3Q	21,986,659 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続いており、緩やかに回復していくことが期待され、個人消費、消費者マインドは緩やかに持ち直しているものの、先行きの不透明感は払拭されず、お客様の選別の目は依然と厳しい状況が続いております。また、世界の景気は緩やかな回復が続くことが期待されるなか、アジア新興国等の経済の先行き、金融資本市場の変動の影響等については留意が必要な状況にあり、景気の先行きは依然不透明な状況にあります。

当社グループが属する自動車業界においては、国内における新車の販売台数（軽自動車含む）は、前年同期比4.5%増加となりました。中古車においては3.4%増加しており、持ち直しつつあります。また、オートオークション相場においては、出品台数は前年同期比13.8%増加、成約台数は前年同期比11.7%増加、成約単価は前年同期比3.6%増加するなか、成約率は前年同期比1.2%減少（出典：株式会社ユーエスエス オークションデータ）しております。

このような環境の中で、当社グループは、利益率の高い中古車販売に特化した営業施策へ転換を図り、生産性の向上及び効率性の追求を目的とし、徐々にその効果は出てきておりますが、第3四半期までに九州地域の柳川店を含む12営業拠点の統廃合を進めてきたことにより、販売台数・買取台数が想定より下回る結果となったこと、また、営業拠点閉鎖に伴う一時的な費用が発生したことにより、売上高及び各利益について当初発表した業績見通し予想を下回る見込みとなりました。しかしながら、今後も不採算店のスクラップアンドビルドを加速させ大型店舗の出店などを進めて行き、より一層、インターネット販売及び各拠点販売を重点に進めて行きます。なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

以上の結果、売上高は17,722百万円（前年同期比22.5%減）、売上総利益は3,581百万円（前年同期比15.1%減）、営業損失は190百万円（前年同期は営業損失236百万円）、経常損失は179百万円（前年同期は経常損失207百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は212百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失248百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,550百万円となり、前連結会計年度末と比べ、917百万円減少いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少1,209百万円、商品の減少404百万円、建物及び構築物（純額）の減少71百万円、現金及び預金の増加766百万円などによるものであります。

負債合計は1,771百万円となり、前連結会計年度末と比べ、615百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の減少115百万円、短期借入金の減少300百万円、長期借入金の減少75百万円などによるものであります。

純資産は、5,778百万円となり、前連結会計年度末と比べ303百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を212百万円計上したこと、剰余金の配当が79百万円あったことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は73.5%（前連結会計年度末69.1%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ671百万円増加し、残高は2,941百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失は188百万円であり、売上債権の減少1,209百万円、たな卸資産の減少404百万円などのプラス要因と、仕入債務の減少115百万円、未払金の減少71百万円、前受金の減少80百万円などのマイナス要因により、結果として1,286百万円のプラスとなりました（前年同期は833百万円のマイナス）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の預入による支出100百万円、有形固定資産の取得による支出13百万円などのマイナス要因と、無形固定資産の売却による収入32百万円などのプラス要因により、結果として168百万円のマイナスとなりました（前年同期は94百万円のマイナス）。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出75百万円、短期借入金の純減少額300百万円、配当金の支払額66百万円などのマイナス要因により、結果として447百万円のマイナスとなりました（前年同期は622百万円のマイナス）。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高及び各利益において、平成29年5月9日に「平成29年3月期決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想を下回る見込みとなり、業績予想を修正いたします。詳細につきましては、平成30年2月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,575,409	3,341,498
受取手形及び売掛金	1,551,099	341,941
商品	2,211,623	1,807,277
貯蔵品	1,956	1,703
その他	224,786	196,572
貸倒引当金	△1,141	△1,057
流動資産合計	6,563,733	5,687,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,386,981	1,333,693
減価償却累計額	△680,200	△697,893
建物及び構築物（純額）	706,781	635,799
土地	515,582	515,582
その他	204,121	207,402
減価償却累計額	△152,218	△162,872
その他（純額）	51,903	44,530
有形固定資産合計	1,274,266	1,195,912
無形固定資産		
その他	79,967	34,814
無形固定資産合計	79,967	34,814
投資その他の資産		
投資有価証券	20,176	20,176
破産更生債権等	4,989	12,974
差入敷金保証金	522,238	504,213
その他	6,840	107,091
貸倒引当金	△4,632	△12,618
投資その他の資産合計	549,611	631,837
固定資産合計	1,903,846	1,862,564
資産合計	8,467,579	7,550,501

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346,358	230,960
短期借入金	330,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払金	356,094	285,948
未払法人税等	28,291	36,731
賞与引当金	2,302	416
その他	594,836	551,399
流動負債合計	1,757,883	1,235,457
固定負債		
長期借入金	375,000	300,000
預り保証金	10,760	10,750
繰延税金負債	28,086	24,543
資産除去債務	190,400	178,091
その他	23,967	22,731
固定負債合計	628,214	536,115
負債合計	2,386,098	1,771,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,816,034	2,816,034
資本剰余金	846,636	846,636
利益剰余金	3,552,104	3,259,941
自己株式	△1,365,926	△1,366,099
株主資本合計	5,848,848	5,556,512
新株予約権	2,710	2,710
非支配株主持分	229,921	219,704
純資産合計	6,081,481	5,778,927
負債純資産合計	8,467,579	7,550,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	22,884,352	17,722,755
売上原価	18,666,095	14,141,611
売上総利益	4,218,256	3,581,143
販売費及び一般管理費	4,454,752	3,771,375
営業損失(△)	△236,496	△190,231
営業外収益		
受取利息	8,341	3,953
受取配当金	1,108	821
受取手数料	2,556	2,581
受取保証料	2,999	2,404
協賛金収入	2,935	15
金利スワップ評価益	1,678	1,236
雑収入	19,296	11,459
営業外収益合計	38,915	22,473
営業外費用		
支払利息	4,170	3,269
支払保証料	4,442	4,201
修理費	543	1,155
雑損失	511	2,986
営業外費用合計	9,666	11,613
経常損失(△)	△207,247	△179,371
特別損失		
固定資産除却損	2,815	-
減損損失	20,822	9,303
特別損失合計	23,638	9,303
税金等調整前四半期純損失(△)	△230,885	△188,675
法人税、住民税及び事業税	40,561	38,028
法人税等調整額	△802	△3,543
法人税等合計	39,758	34,485
四半期純損失(△)	△270,643	△223,160
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,467	△10,217
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△248,176	△212,943

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△270,643	△223,160
四半期包括利益	△270,643	△223,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△248,176	△212,943
非支配株主に係る四半期包括利益	△22,467	△10,217

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△230,885	△188,675
減価償却費	113,062	92,658
減損損失	20,822	9,303
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△466	7,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,402	△1,885
受取利息及び受取配当金	△9,449	△4,775
支払利息	4,170	3,269
有形固定資産除却損	2,502	-
無形固定資産除却損	313	-
売上債権の増減額(△は増加)	87,294	1,209,157
たな卸資産の増減額(△は増加)	△509,572	404,599
仕入債務の増減額(△は減少)	△241,899	△115,398
破産更生債権等の増減額(△は増加)	466	△7,985
未払金の増減額(△は減少)	△69,466	△71,303
未払費用の増減額(△は減少)	22,190	12,838
前受金の増減額(△は減少)	△9,411	△80,626
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,211	20,091
その他	42,001	23,025
小計	△762,518	1,312,194
利息及び配当金の受取額	5,304	5,515
利息の支払額	△4,170	△3,175
法人税等の還付額	87,186	-
法人税等の支払額	△159,787	△27,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	△833,985	1,286,949
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△100,000
定期預金の払戻による収入	-	5,006
有形固定資産の取得による支出	△100,988	△13,188
無形固定資産の取得による支出	△48,645	-
無形固定資産の売却による収入	-	32,400
資産除去債務の履行による支出	△27,779	△8,851
敷金及び保証金の差入による支出	△7,684	-
敷金及び保証金の回収による収入	90,346	12,780
その他	-	△96,506
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,750	△168,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△144,580	△75,000
短期借入金の純増減額(△は減少)	110,000	△300,000
リース債務の返済による支出	△4,029	△5,874
配当金の支払額	△90,389	△66,446
新株予約権の行使による株式の発行による収入	49	-
自己株式の取得による支出	△493,363	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△622,312	△447,494
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,551,048	671,095
現金及び現金同等物の期首残高	3,213,523	2,270,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,662,474	2,941,498

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。